令和４年度　第２回学校運営協議会　議事録（要旨）　　　　　　　　島中学校

日　時	：	令和４年１１月９日（水）　９時３０分～１０時５５分
場　所	：	第２会議室
出席者	：	委員１５人（欠席２人）
資　料	：	第２回資料（冊子）、別紙１枚

１　会長挨拶

２　学校からの説明

- ４月に実施した全国学力・学習状況調査の結果と考察。
- ボランティア活動の活性化を図るため、地域部活動「島中 CVS 部」の新設。
- 地域住民による別室登校生徒の支援や校内環境整備の依頼（教育ボランティア）。
- 令和５年度の行事、学習評価、新型コロナ対応、キャリアスクール等について。

３　意見交流・質疑

- 地域住民が教育ボランティアとして学校運営に協力することは、コミュニティ・スクールの理念とも一致している。
- 生徒が地域活動に参加する際、担当者や責任の所在を明確にする必要がある。
- 部活動の引率について、保護者の引率で事故が発生した場合の対応が心配される。
  →　保護者クラブの活動においては、スポーツ安全保険に加入している。
- かつては、各小学校区の連絡代表者がいた。提案にある新たな地域部活動「島中 CVS 部」が、それに替わる組織となるのではないか。
- 学校部活動の地域移行について、今後はどうなるのか。
  →　休日の活動を保護者クラブの運営とする現在の方式を、今後も継続する。
- 地域でボランティア活動を行う際に、地域部活動「島中 CVS 部」のような組織があると頼みやすくなる。
- 木田小校区では、地域と小学校の合同運動会を開催し、中学生のボランティアが１５人ほど活躍してくれた。
- 地域住民が教育ボランティアとして活動する場合、休日の活動は可能か。
  →　校舎内での活動はできないが、敷地内の作業であれば可能である。
- 考えを発表する場面でタブレット端末の使用頻度が低いのはなぜか。
  →　授業でタブレット端末を活用する頻度は高いが、検索等での使用が中心。発表する場面では、主にノートやプリントを活用している。
- 生徒ボランティア「島中 CVS 部」の設置は、生徒の点呼や資料配布など、運営する側として助かる。進学に際して利点があることを紹介してほしい。
- 木田小校区の通学路の追加指定について、委員として地域の会合等で紹介した。
- キャリアスクールでは、支援推進委員会と PTA 役員で、新規講師の開拓を行った。

４　校内参観　…　会議が延長したため、中止とした。